

事業所名

放課後等デイサービスLIT

## 支援プログラム

作成日

2025年

2月

1日

法人（事業所）理念		子ども達一人一人が自分で考えて行動し、『自分を生きる』『自分で生きる』をモットーに、その年齢や発達段階に応じた自立をするための力が伸ばせるようにサポートを行う。			
支援方針		利用者が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、利用者等の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。			
営業時間		平日 10時00分から 19時00分まで 学校休業日 8時30分から 17時30分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	小学生支援→本人の特性を考慮しながら時計や文字の読み書きができるようになり、健康的な生活リズムを築くことができるように支援を行う。 また、活動の中に紐を結ぶ、ものを洗うといった日常動作に繋がる動きを取り入れて日々の生活でできることが増えるように支援を行う。 中高生支援→物事の優先順位や必要時間を考え、自分自身でスケジュール管理ができるように支援を行う。また、テストや受験に向けての学習支援を行う。			
	運動・感覚	小学生支援→運動系の活動を通して体を動かし体幹を鍛えたり基礎体力向上の手助けができるように支援を行う。 また、感覚や認知の特性に配慮して過ごしやすい環境設定ができるように支援を行う。 中高生支援→自身の感覚や認知の特性を知り、過ごしやすい環境設定や対応を自らできるようになるための支援を行う。			
	認知・行動	小学生支援→音遊びや間違い探し、宝探し等の活動を通して、本人の認知の特性を踏まえつつ、自分に入ってくる情報を適切に処理し、行動できるように支援を行う。 中高生支援→本人の認知の特性を踏まえつつ、自分に入ってくる情報を如何に処理して行動に移し、自身が過ごしやすい認知の方法を職員と話し合いながら模索していく。 そして、該当する実体験もフィードバックし、さらに自身に適した認知の方法が構築できるように支援を行う。			
	言語 コミュニケーション	小学生支援→日々の活動や集団活動の中で、他者と言語によるコミュニケーションを取る機会を設定し、適切な言葉でのやり取りの練習ができるようにする。 また、文字や絵カード等も使用し、各々の特性に応じたコミュニケーションの獲得を目指せるように支援を行う。 中高生支援→ディスカッションや学習を通し、自身の考えの言語化や他者の言葉を受け止める姿勢が育まれるよう支援を行う。			
	人間関係 社会性	小学生支援→日々の活動や集団活動、外出活動の中で、他者や社会との関わりを持ち、マナーやモラルを学ぶことで適切な人間関係と社会性が身に着くように支援を行う。 中高生支援→マナーやモラルを学んだ上で、他者の考えや立場などの背景にも目を向ける等、多角的な視点を持って適切な人間関係と社会性が見に着くように支援を行う。			
家族支援		ご家庭へ日々の活動報告を行ったり、ご家庭や学校での様子を聞いたりして情報共有を行う。また、気になる点があれば事業所やご自宅での面談を行う。	移行支援	ライフステージの変動に伴い、支援も変化させ、新しい環境で過ごすための力がつくように支援を行う。	
地域支援・地域連携		必要に応じて、学校や関連機関とも情報共有や交流といった連携を行い、本人が過ごしやすい環境設定ができるようネットワークを構築する。	職員の質の向上	外部、内部問わず職員研修の機会を設け、知識やスキルの習得を図る。また、活動の振り返りやケースカンファレンスも行い、実務上での課題とも向き合えるようにする。	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・初詣や豆まき、クリスマス会等の季節行事。</li> <li>・昼食づくりやお菓子などの調理体験。</li> <li>・公共交通機関を利用しての遠出や動物園や水族館への遠足、社会科見学などの外出体験。</li> <li>・避難訓練や非常時のクッキング体験。</li> </ul>			